



2018年11月8日

各 位

会 社 名 ダイトウボウ株式会社  
 代表者名 取締役社長 山内 一裕  
 (コード：3202 東証・名証各第1部)  
 問合せ先 取締役執行役員 三枝 章吾  
 経営管理本部長  
 (TEL 03-6262-6557)

**2019年3月期第2四半期累計期間業績予想と実績との差異  
 および通期業績予想の修正に関するお知らせ**

2019年3月期第2四半期累計期間(2018年4月1日～2018年9月30日)の連結業績予想(2018年5月11日付公表)と本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、2019年3月期(2018年4月1日～2019年3月31日)の通期連結業績予想(2018年5月11日付公表)を下記のとおり修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 業績予想と実績との差異

(1) 2019年3月期第2四半期(累計)連結業績予想と実績との差異  
 (2018年4月1日～2018年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	2,180	130	50	45	1.50
今回実績 (B)	2,147	188	110	144	4.82
増減額 (B-A)	▲32	58	60	99	
増減率 (%)	▲1.5	45.0	120.0	220.0	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2018年3月期第2四半期)	2,113	227	169	130	4.36

(2) 差異の理由

売上高は、衣料品の購買意欲が高まらない中、衣料品部門の売上高が伸び悩んだことを主因に業績予想を下回りました。

営業利益および経常利益においては、商業施設事業の賃貸収入のうち前倒し入金となったことおよび効率的運営による販売管理費の圧縮により、業績予想を上回りました。

また、親会社株主に帰属する四半期純利益においては、2018年8月31日付で資本金を1億円に減資したことに伴い、当第2四半期連結累計期間において税金費用が改善したことから、業績予想を上回りました。

## 2. 通期業績予想の修正

### (1) 2019年3月期通期連結業績予想の修正 (2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 4,750	百万円 340	百万円 180	百万円 170	円 銭 5.68
今回修正予想 (B)	4,750	360	200	230	7.69
増減額 (B-A)	0	20	20	60	
増減率 (%)	0.0	5.9	11.1	35.3	
(ご参考) 前期連結実績 (2018年3月期)	4,427	325	153	103	3.47

### (2) 修正の理由

売上高につきましては、商業施設事業は好調に推移することを見込むものの、繊維・アパレル事業では環境が引き続き厳しいことを想定しており、この結果、全体としては計画に沿って推移することが見込まれるため、業績予想は修正いたしません。

営業利益および経常利益につきましては、売上総利益は概ね計画通り着地することを見込むものの、販売管理費の計画比削減実績と引き続き効率的運営による圧縮効果が見込まれるため、前回発表予想を上回る利益水準を見込んでおり、業績予想を修正いたします。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、当社の減資に伴い、当第2四半期連結累計期間において税金費用が改善したことなどにより前回発表予想を上回る見込であり、業績予想を修正いたします。

(注) 上記予想は、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上